



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	執筆者一覧 ; 編集後記
Citation	北海道大学考古学研究室研究紀要, 3, 83-83
Issue Date	2024-02-22
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/91244
Type	other
File Information	06_3_83.pdf



執筆者

小杉 康（北海道大学大学院 文学研究院 人文学部門 歴史学分野 考古学研究室 特任教授）

高瀬 克範（同 教授）

國木田 大（同 准教授）

江田 真毅（北海道大学総合博物館／北海道大学大学院 文学院 人文学専攻 歴史学講座 考古学研究室 教授）

中沢 祐一（北海道大学大学院 医学研究院 連携医学系部門 人類進化学教室／北海道大学大学院 文学院 人文学専攻 歴史学講座 考古学研究室 助教）

編集後記

かつて縄文農耕論とのかかわりで注目されたクッキー状炭化物やパン状炭化物。電子顕微鏡での観察や残留脂肪酸分析などによる研究を経て、現在では残存デンプン粒分析や炭素・窒素同位体分析が実施されています [國木田論文]。植物利用の人類史、前号までは石器の使用痕分析でしたが、今回はレプリカ法による分析。北関東の弥生前期は雑穀が優勢 [高瀬論文]。コロナ禍で延期されていたサバティカル研修にやっと出発。キジ科鳥類、ZooMS、破壊でも非破壊でもない「微破壊」分析をめぐる英国紀行文 [江田報告]。磨製棒状石製品の正体は？ 実用品でも非実用品でもない後期旧石器文化の「模範品」の可能性を提起 [中沢論文]。漢字で書いて一文字の「アレ」に取り組む予定でしたが「道具とことばの考古学」シリーズは一回休み。現在奮闘中の礼文華遺跡発掘調査報告書の作成に向けてのささやかな一歩 [小杉論文]。前年度よりも少し遅れましたが、研究紀要第3号をお届けします。ポクポクと雪に足跡、春遠からじ。 (小杉)